

こみゅにてあたいむ

まちづくり事業補助金

まちづくり事業補助金は、「地域づくり計画」に基づき、地域の特性を生かした個性的で魅力のある地域おこしに取り組む町内会や常会などに対し補助金を交付する制度です。例えば、「途絶えていた地域の行事を復活させたい」「地域の歴史や文化を学び子どもたちに伝えていきたい」「里山や小川の周辺を整備して地域のよりどころにしたい」など、地域おこしにつながる事業を計画していると思います。それらの思いを実現するため、まちづくり事業補助金を活用ください。

対象団体 町内会、常会、自治会、部落会などの自治組織

対象事業 町内会や常会などが策定した「地域づくり計画」に基づく事業であって、次のいずれかに該当するものとします。

①地域の魅力を高める事業

②地域の課題解決を図る事業

※他の補助制度を受けていないもの。

補助額 事業費の4分の3以内で、30万円を上限とします。補助金の交付は、同一年度内に1団体につき1回とします。ただし、年度が異なる場合は、同一団体につき2回までを限度とします。

事業対象経費 事業期間内に支払いが完了した経費で領収書などの証拠書類があるもの。なお、人件費や食料費は対象外です。

公開審査会 応募団体は、7月中旬に行う公開審査会で事業の発表を行います。事業の採択及び補助金額は、公開審査を実施した後に決定します。

事業報告会 3月に行う事業報告会で、事業の結果や効果を発表していただきます。

応募方法 まちづくり事業補助金交付申請書を提出してください。提出場所は、市役所地域振興課または各地域のコミュニティセンターとなります。

応募期間 6月28日（金）まで

問い合わせ先 地域振興課（内線384）

地域づくり計画の策定を進めています

市は地域の課題や要望を解決するために地域づくり計画の策定を進めています。未策定地区や計画の見直しをお考えの地区は、地域振興課または地域担当職員にご相談ください

問い合わせ先 地域振興課（内線382）

—地域おこし協力隊通信—

たからぼ
の中

三かき目「春に思うあれこれ」



春

が来ました！4月にはまだまだグレーだった山肌に淡い新芽の緑のフワフワが見えてきたと思ったら、いつの間にかモコモコに！あれ？いつの間にか春真つ盛り？そうか！二戸の春は一気に駆け足でやってくるんですね。

地域おこし協力隊に着任してから、早いもので半年がたちました。まさに紅葉が終わろうとしていたところに始まった二戸生活。秋の二戸は、もしや視力が良くなったのか？と思うほど、風景がくつきりはつきり色鮮やかに見えたのが印象的でした。そのころは毎日のように虹が出ていて、「虹は頻繁に見える

ものだ」という認識が無かった私は、その出現頻度にとっても驚いたのですが、その虹の7色が鮮やかで裾までくつきりはつきり見えること、そして思わず後ずさりするほど近い（こんなに間近に虹を見たことがない！というぐらい！）こと、二戸の皆さんには当たり前のことかもしれないですが、本当にビックリしました。

虹だけではなく、晩秋の柔かい日差しの中で黄金色の落ち葉がキラキラ舞いながら降ってくるのも、折爪岳山頂から見る星の瞬きも、全てが鮮やか。二戸の空気は、色や光を邪魔するような濃みがなく、澄んでいる

んですね。そんなキラキラの秋も瞬く間に過ぎ、思った以上に長かった冬の到来。ほぼ半年間、木には緑が無く、白い雪に閉ざされたシーンと静まり返った街。北国のみなさんには怒られてしまいましたが、私は雪も冬の静けさも大好きなので、冬も結構楽しんでおりました。

そして春。クッキリハッキリの秋とは違い、春はフワフワとした新緑が始まるんですね。芽吹いたばかりの葉の繊細で淡い緑色は、まるで水彩画のようだと思いました。山もいいのですが、二戸の春は街も素敵！赤や緑のチューリップ、白や黄色

のスイセン、ピンクや紫色のシバヅクラ、黄色のレンギョウ、モクレン……。お庭に咲き乱れる花の色の美しさ！二戸には庭をとてもしきれいに手入れされている人が多いことに、とても驚きました。家に手を入れ、丁寧に暮らす暮らしぶりはまるでヨーロッパの人々のよう。真の心の豊かさを感じます。

私は毎朝そのきれいなお庭を見ながら通勤するのが楽しくて仕方ないのですが、もし庭をのぞき見てニヤニヤしている私を見かけたら、怖がらずどうぞ温かく見守ってください。決して怪しい者ではありません！（地域おこし協力隊・永井尚子）